

## 沖永良部民謡について

——第11報 後蘭地区（和泊町）における調査——

On the Folk Songs of Okinoerabu-jima, the Ryukyu Islands, Japan

——11th. Survey in the Areas of Golan (Wadomari-cho)——

鹿児島女子短期大学 前原 隆鋼  
せりよさ文化研究所 永吉 敏人

### I はじめに

研究目的は、第1報（1999）に記載したので、本稿では割愛する。

曲の採譜と音階分析については前原が、三味線奏法と歌詞については永吉が責任を分担する。

### II 調査の概要と研究の方法

今回の報告は2002年3月に実施した和泊町後蘭における朝戸貞造氏の演奏・演唱によるものである。録音にあたっては、採譜を正確にする目的で、最初に三味線を、次に歌のみを、最後に歌と三味線を採録した。調査後、録音したテープから採譜し、採譜した譜を再度ピアノで再現録音し、2008年8月の確認調査で、朝戸氏に聞いていただき、一部修正して最終稿とした。各曲の冒頭に音階構成を付記する。第1報と同様に、小泉文夫氏の日本音階論を参考にして民謡のテトラコードを民、律のテトラコードを律、琉球のテトラコードを琉、呂旋法を呂、えらぶ的ドミソ音型をえらぶと略記する。歌詞のハヤシの部分はカタカナで表記し、歌い手以外のハヤシを「 」で表記する。

また、三味線譜の下に数字記号を記載する。これは永吉が考案した三味線奏法の記譜法である。1980年、畦布集落の子どもたちに「如何にしたら三味線の勘所を速く押さえることが出来るか」という目的で考案したものである。五線譜を見て音の高さと長さを想定しながら、容易に勘所を押さえることが出来る。詳しくは第2報のIV項参照。

尚、三味線譜には清村杜夫氏の記譜法を参考にして、曲頭ト音記号の下に8 Va Sempre Bassa を記載する。

### III 調査内容

#### 1. チュッキヤリ節

※実音は短3度上  
本調子・指間 I  
J ≒ 66

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造（1933生）  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

琉  
えらぶ  
8 Va Bassa

歌

三味線

8Va  
Sempre Bassa

34 34 33 32 32 20 33 22 30 23 23 22 23 23 21 20 34 34 33 32 32

は じゅーーみ

20 33 22 30 23 23 22 23 23 21 20 20 20 22 23 22 23 30

ー てい どう や しーーがー あ お さ り が し ゆ

30 32 32 33 33 32 33 30 30 32 20 33 33 22 30 23 23 22 23 23 21

ら き

20 20 20 32 33 33 33 22 30 23 23 22 23 23 21 20 20 20 22

ば - - てい - ひ ち じゃ しよ - - り あ お ち

23 22 23 30 30 32 32 33 33 32 33 30 30 33 20 33 33 22 30

よ - みや ぶ ら

23 23 22 23 23 21 20 20 20 34 34 33 32 32 33 22 30 23 23 22 23 23 21

20 20 32 33 33 33 22 30 23 23 22 23 23 21 20

### 1. チュッキヤリ節

はじゅみていどゥ やしが	(初めてですけれども)
あおさがしゆら	(合わすことが出来るかどうか)
きばてい ひちじゃしより	(頑張って<三味線を>弾き出してください)
あおちよー みやぶら	(合わせてみましょう)

2. トーセマル (サトヨ節)

※実音は短3度上  
本調子・指間 I  
♩ ≒ 66

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

8Va Bassa

琉  
えらぶ

歌

三味線

8Va  
Sempre Bassa

えらぶ

と

20 20 22 23 22 22 23 30 32 34 33 32 33 30 22 30 30 23 22 21 20 30 30

と  
やん

20 20 22 23 22 22 23 30 32 34 33 32 33 30 22 30 30 23 22 21 20 30 30 20 22

せ ま る かんぱんぬ うい にてい な ぜ ぬ  
ご ー ぬ ちユらあ や ー た ー ー が ー ー はん か ち

30 32 33 33 33 33 33 33 35 37 36 36 35 33 34 34 33 32 34 33 22

やんごーみりーや ジントーヨ なぜぬやんごー  
ふりーまねーく ジントーヨ はんかちふりー

23 30 32 34 33 33 33 30 30 30 30 23 22 22 20 20 20 20 22 23 22 22 23 30 32 34

みりーや  
まねーく

33 32 30 30 30 30 30 23 22 21 20 30 30 20 20 22 23 22 22

23 30 32 34 33 32 33 30 22 30 30 23 22 21 20

## 2. トーセマル

とオせまる	かんぱんぬ	ういにてイ	(東成丸の甲板の上から)
なぜぬ	やんごうみりや		(名瀬の屋仁川を見ると)
ジントーヨ			(ジントーヨ)
なぜぬ	やんごうみりや		(名瀬の屋仁川を見ると)

3. ウミヨカナ

※実音は短3度上  
本調子・指間Ⅱ  
♩ = 108

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

8Va Bassa

えらぶ 琉

歌

三味線

8Va  
Sempre Bassa

30 34 33 22 30 23 22 30 34 33 22 30 23 22 20 20

う み よ か な に ふ り てい - よ - -

22 22 30 30 30 30 32 33 32 30 32 23 30

わ み し う てい る や り - や さ

32 33 32 30 32 30 23 23 23 23 22 20 20

し く う ー ら う や に ー とウじき

10 22 23 20 20 20 22 23 30 30 30 30 32

め ん そ り う み よ か な ド ン ドン

30 23 22 22 20 20 20 22 23 30 30 23 30

30 32 33 32 30 23 22 22 30 32 33 32 30 23 22 22 22 22

さ し く う ら う や に

30 30 22 22 22 22 30 30 32 32 33 32

— よ — — とウ じ き い ら ん で イ シ ャ し —

30 32 23 30 32 32 33 32 30 32 30 23 22 22 20

が う や ぬ な ぬ か ら だ

20 20 20 20 22 22 22 20 20 20 20 22 30 30 30

— とウ じ き な — ら — む う み よ か な

30 30 30 32 30 23 22 20 20 20 20 20 22 23 30

ド ン ドン

30 23 30 30 32 33 32 30 23 22 22 30 32 33 32 30 23 22 22 30



### 3. ウミヨカナ

- ①うみよ かなにふりてイ ヨー (思う人よ 愛人に惚れてヨー)  
 わみしうてイるやりや (自分の身を捨てるからには)  
 さしくうらうやに (早速、あなたの親に)  
 とウじきめんそうり (届けて<言いつけて>下さい)  
 ウミヨカナ ドンドン (ウミヨカナ ドンドン)
- ②さしくうらうやに ヨー (早速、あなたの親にヨー)  
 とウじきらんでイ シャしが (届けようとしたが)  
 うやぬな一ぬからだ (親がない自分は)  
 とウじきならむ (届けをすることが出来ない)  
 ウミヨカナ ドンドン (ウミヨカナ ドンドン)

### 4. アサトヤユンタ

※実音は短3度上  
 本調子・指間Ⅱ  
 ♩ ≒ 108

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
 歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
 採譜 前原隆鋼・永吉敏人

8Va Bassa

歌

三味線

8Va  
 Sempre Bassa

20 22 21 21 22 10 10 11 20 22 21 21 20 21 21

ハ ー き み と わ か れ て

21 21 21 21 21 21 20 20 20 20 21 30 22 22 21 21

ま つ ば ら ゆ け ー ば さ ュイ ュイ

20 20 21 22 30 31 30 30 31 31

ま ー つ の つ ゆ や ら や れ ほ に

31 30 31 30 31 30 31 33 31 31 30 22 21 22 30 31

な み だ や ら マ タ ハ ー リ ヌ チン ダ ラ

30 30 22 21 20 20 20 20 21 20 21 22 10 10 10 12

カヌサマヨ

20 22 21 21 20      20 22 21 21 22 10 10 11

20 22 21 21 20

#### 4. アサトヤユンタ

ハー きみとわかれて	(ハー 君と別れて)
まつばらゆけば	(松原行けば )
サー ユイユイ	(サー ユイユイ)
まつのつゆやら やれほになみだやら	(松の露やら やれほに涙やら)
マタハーリヌ チンダラカヌサマヨ	(マタハーリヌ チンダラカヌサマヨ)

#### 5. 子守歌

※実音は短6度上  
本調子・指間Ⅱ  
♩ = 60

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

琉

えらぶ

8Va Bassa

歌

なくなくな

三味線

8Va  
Sempre Bassa

20 20 22 22 30 22 30 30 30 20 20 20 20 20 22 22 22 30

わらびー たがなきでー いちよ なきでー ちゃぬー

30 32 33 32 33 30 32 34 33 33 32 22 30 30 30 32 34 33 33 32

ちゅ はたりーーー りにー むらさ

22 30 30 23 22 20 20 22 22 30 24 22 30 30 23 22 20 20 22 22 30

22 30 30 20 20 22 22 30 22 30 30

### 5. 子 守 歌

なくなくな わらび	(泣くな 泣くな 童)
たが なきでイ いちよ	(誰が 泣けと 言ったのか)
なきでイちやぬ ちユはたり	(泣けと言った人を教えなさい)
うりにむらさ	(その人に 守りをさせましょう)

### 6. ツクタヌメ

※実音は短3度上  
本調子・指間Ⅱ  
♩ = 63

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造（1933生）  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

8Va Bassa

琉  
えらぶ

歌

三味線

ふとウし  
まへぬ

8Va  
Sempre Bassa

34 34 34 33 32 34 33 32 33 20 22 30 30 30 23 22 22 20 20 20 22 30 22

つ く た ぬ め - や し - し だ - ま - ぬ  
は - じ ふ き - や ま に し ぬ - あ ぶ し

30 32 33 34 33 32 32 30 30 30 32 34 33 32 33 20 22 30

な い しゅ さ ヤイ スリ ー し ー し だ ー ま ー ぬ  
うま ー く ら ヤイ スリ ー ま に し ぬ ー あ ぶ し

30 30 23 22 22 20 20 20 34 34 34 34 33 32 34 33 32 33 20 22 30

1.2.

な い ー しゅ さ ササ  
うま ー く ら ササ

30 30 23 22 22 32 33 20 22 30 22 30 32 33 34 33 32 33 30

3.

ま に し は ー じ ふ き ー や

20 22 30 20 22 22 30 22 30 32 33 34 33 32 32 30 30 30

ま は へ ぬ ー あ ぶ し うま ー く ら ヤイ スリ ー

32 34 33 32 33 20 22 30 30 30 23 22 22 34 34 34 33

ま は へ ぬ ー あ ぶ し う ま ー く ら さ さ

32 34 33 32 33 20 22 30 30 30 23 22 22 32 33 20 22 30 22

30 32 33 34 33 32 33 30 32 34 33 32 32 33 20 22 30 30 30 23 22 22

34 34 34 34 34 33 32 34 33 32 32 33 20 22 30 30 23 23 22 22 32 33

### 6. ツクタヌメ

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ①ふとウし つくたぬめーや | (今年 作った米は)      |
| ししだまぬ ないしユさ   | (数珠玉のように 実っている) |
| ヤイスリ          | (ヤイスリ)          |
| ししだまぬ ないしユさ   | (数珠玉のように 実っている) |
| ササ            | (ササ)            |
| ②まへぬ はじふきや    | (南風が 吹くと)       |
| まにしぬ あぶしうまくら  | (北の畦を 枕にする)     |
| ヤイスリ          | (ヤイスリ)          |
| まにしぬ あぶしうまくら  | (北の畦を 枕にする)     |
| ササ            | (ササ)            |

7. イニシリ節

※実音は短3度上  
本調子・指間 I  
♩ ≒ 112

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

8Va Bassa

琉  
えらぶ

歌

三味線

8Va  
Sempre Bassa

33 20 20 22 22 30 23 22 22 33 33 30 32 30 23 22 22 20 20 22 22 30 23 22 22 33 33 30 32 30 23 22 22

ふとウし ゆー が ふー どウ しー

20 20 22 22 30 30 30 23 22 22 22 30 32 32 33 33 32 33

いにーむ あわむ でいーきー ていさ

34 34 33 32 32 30 30 30 32 32 34 33 32 30 23 22 22 33



イ ニ シ リ シ リ ヨ ア ラ ユ リ ユ リ ヨ

20 20 22 22 30 23 22 22 33 33 30 32 30 23 22 22

20 20 22 22 30 23 22 22 33 33 30 32 30 23 22 22 20

### 7. イニシリ節

ふとウシ ゆがふどウシ	(今年は 豊年だ)
いにむ あわむ でイきてイ	(米も 粟も 豊作だ)
サー イニシリシリヨ	(サー イニシリシリヨ)
アラ ユリユリヨ	(アラ ユリユリヨ)

### 8. インタブレ

※実音は短3度上  
三下げ・指間 I  
♩ = 66

和泊町後蘭 2002. 3. 23  
歌・三味線 朝戸貞造 (1933生)  
採譜 前原隆鋼・永吉敏人

琉

琉

琉

えらぶ

8Va Bassa

歌

三味線

8Va  
Sempre Bassa

31 31 30 22 20 13 20 10 12 20 10 12 20 10 12 20 22 31 33 31 30 22 22

30 30 30 30 22 30 31 31 30 22 20 12 20 10 12 20 10 12 20 10 12 20 21

は じゅ み てい どう

31 33 31 30 22 22 30 30 30 30 30 30 10 20 20 10 10 20 20 20 20

やし が — — — あ お — さ — り — — — が

22 31 31 30 22 22 30 31 31 31 31 20 22 22 31 33 31 31 30 22 20

一 し ゆ ら あ お さ り が し ー ゆ ら

20 20 22 31 30 30 30 30 30 30 31 31 31 31 33 31 30 22 30 30 30 30 30 30

き ば ー て イ ー ひ き ー じゃ ー し ョ

30 30 30 10 20 20 20 20 20 20 31 31 30 22 31 33 34 34

ー り ー ヨ ハ り ー あ お ち ま た あ

34 33 22 22 30 31 33 31 31 30 22 20 10 12 20 10 12 20 20 20

お ち よ ー み や ー ぶ ら ー

31 31 31 34 31 30 22 30 30 30 30 30 22 30 31 31 31 31 30 22 20 12

20 10 12 20 10 12 20 10 12 20 22 31 34 31 30 22 22 30 30 30 30 22 30

き - ゆ ぬ ふ く ら し や - や - - - - む ぬ

10 10 20 20 20 20 22 30 31 30 22 22 30 31 31 31 31 31 20 22

- に - た - - - て い - ら ら む

22 31 33 31 31 30 22 20 20 20 20 22 31 30 30 30 30 30

む ぬ に た て い ら - ら む - い ち - む

22 31 31 31 33 31 30 22 30 30 30 30 30 12 20 20 20 20 30 10

— ひゅう ぬ — ぐ — とウ — し — ヨ ハ リ

20 20 20 31 31 30 22 31 33 33 34 34 34 33 34 22 22 31 33

あ ら ち — ま — た あ — ら ち た —

31 31 31 30 22 20 20 12 20 20 20 20 10 10 20 22 22 31 31 33

ほ — — り

31 30 22 30 30 30 30 30 30 30 22 30 31 31 31 30 22 20 12

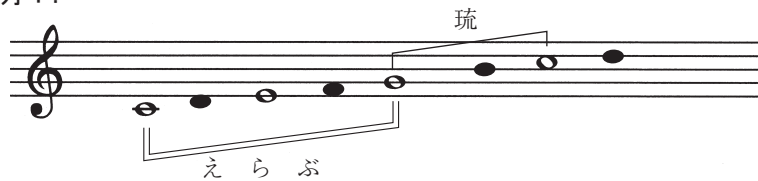
20 20 10 12 20 10 12 20 10 12 20 22 31 33 31 30 22 22 30

## 8. インタブレ

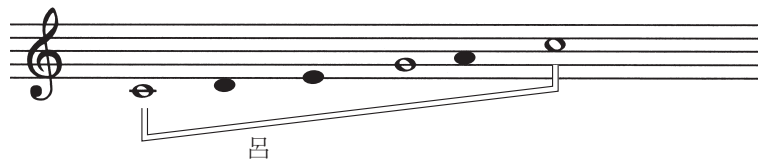
- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| ① はじ <sup>レ</sup> ユ <sup>レ</sup> みて <sup>レ</sup> イ <sup>レ</sup> ど <sup>レ</sup> ウ やしが  | (初めてですけれども)                        |
| あお <sup>レ</sup> さがし <sup>レ</sup> ゆ <sup>レ</sup> ら   | (合わすことができるかどうか)                    |
| あお <sup>レ</sup> さがし <sup>レ</sup> ゆ <sup>レ</sup> ら   | (合わすことができるかどうか)                    |
| き <sup>レ</sup> ばて <sup>レ</sup> イ ひ <sup>レ</sup> き <sup>レ</sup> じ <sup>レ</sup> ゃ <sup>レ</sup> し <sup>レ</sup> ヨ <sup>レ</sup> り                            | (頑張っ <sup>て</sup> <三味線を> 弾き出して下さい) |
| ヨハリ   | (ヨハリ)                              |
| あ <sup>レ</sup> を <sup>レ</sup> ち <sup>レ</sup> また あ <sup>レ</sup> を <sup>レ</sup> ち <sup>レ</sup> み <sup>レ</sup> ゃ <sup>レ</sup> ぶ <sup>レ</sup> ら             | (合わせて また合わせてみましょう)                 |
| ② き <sup>レ</sup> ゆ <sup>レ</sup> ぬ <sup>レ</sup> ふ <sup>レ</sup> く <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> し <sup>レ</sup> ゃ <sup>レ</sup> や                             | (今日の日出度い<誇らしい>ことは)                 |
| む <sup>レ</sup> ぬ <sup>レ</sup> に <sup>レ</sup> た <sup>レ</sup> て <sup>レ</sup> イ <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> む                               | (何物にもたとえようが無い)                     |
| む <sup>レ</sup> ぬ <sup>レ</sup> に <sup>レ</sup> た <sup>レ</sup> て <sup>レ</sup> イ <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> む                               | (何物にもたとえようが無い)                     |
| い <sup>レ</sup> ち <sup>レ</sup> む <sup>レ</sup> ひ <sup>レ</sup> ゅ <sup>レ</sup> う <sup>レ</sup> ぬ <sup>レ</sup> ぐ <sup>レ</sup> と <sup>レ</sup> う <sup>レ</sup> し | (いつも今日のように)                        |
| ヨハリ   | (ヨハリ)                              |
| あ <sup>レ</sup> ら <sup>レ</sup> ち <sup>レ</sup> た <sup>レ</sup> ぼ <sup>レ</sup> り  | (有りますように)                          |

## IV 総括

### 譜例 1.



### 譜例 2.



今回採譜した後蘭地区、朝戸貞造氏演奏・演唱の8曲について、音階構成を考察する。前項で各曲の冒頭に音階構成を付記してきたが、8曲のうち7曲は、ドミソ音型と琉球のテトラコードがコンジャンクトした音型で構成されており、1曲は、呂旋法で構成されている。従って次の2つに分類することができる。

イ、「チュッキヤリ節」「トウセマル」「ウミヨカナ」「子守歌」「ツクタヌメ」「イニシリ節」「インタブレ」： 譜例 1.

ロ、「アサトヤユンタ」： 譜例 2.

「ウミヨカナ」は、今回の調査で初めて収録できた曲である。尚、朝戸氏の三味線は、即興性豊かで、「歌遊び」が盛んであった時代の技法を感じさせる。特に、歌い手の歌を誘う目的で、歌の出だしの音を何回か弾いて待つ奏法（歌の出だしの音の先取り）が見られた。具体的には、「ウミヨカナ：2番の出だしの前2小節の音」「アサトヤユンタ：1番の出だしの1拍前の音」等である。今回の調査の大きな収穫であった。

## 参考文献

- ・南日本民謡曲集 久保けんお著 1960
- ・沖永良部民謡集 知名町中央公民館 1974
- ・日本の音楽 一歴史と理論一 小泉文夫著 1979
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究 一和泊町のわらべ歌と遊び一 鹿児島女子短期大学紀要第16号 日高良廣・前原隆鋼 1981
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究 一知名町のわらべ歌と遊び一 鹿児島女子短期大学紀要第17号 日高良廣・前原隆鋼 1982
- ・和泊町誌・民俗編 和泊町 1984
- ・奄美の音楽「三弦」「ユタの“おもり”」奄美郷土研究会報第24号 清村杜夫 1984
- ・沖永良部民謡集 吉田三味線楽譜研究所 1985
- ・奄美の遊び歌楽譜集 一日本民謡大観 奄美諸島篇補作一 東京藝術大学民族音楽ゼミナール編 1991
- ・沖永良部五つの歌曲 沖縄県立芸術大学紀要6号 杉本信夫 1998
- ・沖永良部民謡について 一第1報 喜美留地区（和泊町）および住吉地区（知名町）における調査一南九州地域科学研究所報第15号 pp.57～108 前原隆鋼・永吉敏人 1999
- ・奄美シマウタへの招待 小川学夫著 1999
- ・沖永良部みんようについて 一第2報 正名地区（知名町）における調査一 南九州地域科学研究所報第16号 pp.15～88 前原隆鋼・永吉敏人 2000
- ・沖永良部民謡について 一第3報 和地区（和泊町）における調査一 南九州地域科学研究所報第17号 pp.15～75 前原隆鋼・永吉敏人 2001
- ・沖永良部民謡について 一第4報 和泊地区（和泊町）における調査一 南九州地域科学研究所報第18号 pp.13～85 前原隆鋼・永吉敏人 2002
- ・沖永良部民謡について 一第5報 上城地区（知名町）における調査（1）一 南九州地域科学研究所報第19号 pp.1～23 前原隆鋼・永吉敏人 2003
- ・沖永良部民謡について 一第6報 上城地区（知名町）における調査（2）一 南九州地域科学研究所報第20号 pp.11～33 前原隆鋼・永吉敏人 2004
- ・沖永良部民謡について 一第7報 玉城地区（和泊町）における調査一 南九州地域科学研究所報第21号 pp.11～32 前原隆鋼・永吉敏人 2005
- ・沖永良部民謡について 一第8報 知名地区（知名町）における調査〔1〕一 南九州地域科学研究所報第22号 pp.1～27 前原隆鋼・永吉敏人 2006
- ・奄美のわらべ歌と遊びⅠ 一与論島・沖永良部島・徳之島編一 日高良廣・前原隆鋼 2006
- ・沖永良部民謡について 一第9報 知名地区（知名町）における調査〔2〕一 南九州地域科学研究所報第23号 pp.66～89 前原隆鋼・永吉敏人 2007
- ・沖永良部民謡について 一第10報 国頭地区（和泊町）における調査〔1〕一 南九州地域科学研究所報第24号 pp.65～91 前原隆鋼・永吉敏人 2008

（平成20年11月13日 受理）